

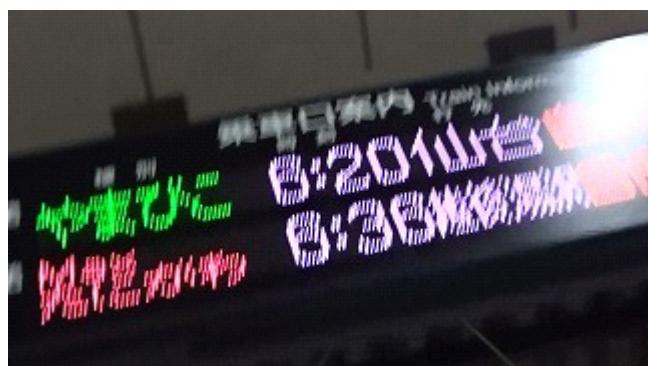


2016年10月1日(土) 安達太良山(1700m)

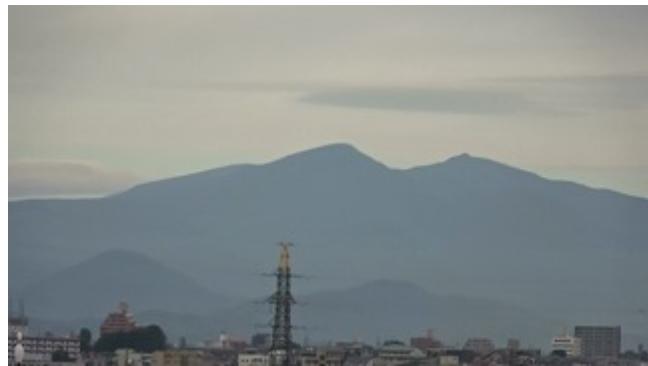
Report by Kumamoto

高村光太郎の「智恵子抄」で有名な「安達太良山」は1700mとあまり高度のある山ではないが、日本百名山に名を連ねている。クマさん会では、6回目となる今回は紅葉を目当てに企画し、9名が参加した。

二本松から奥岳登山口のタクシー往復とロープウェー往復のセット割引(¥3,100)を利用して行くことにした。東北線二本松駅に9時10分集合。東京を出発時は雨が降っており、終日雨の予想である。



山行案内の東京駅6:40発やまびこ203号に高橋雄さん、文さん、松延さん、川島さん、布目さんの5名が乗車、一本早い6:20発に熊本、大瀧さんが間に合い、7:12発に大宮から吉松さん、能勢さんが乗車



郡山に近づくと、左車窓に遠く磐梯山が臨め、進行方向正面には安達太良山が雲を被らず見えてきた。



新幹線を郡山で降り、東北在来線下り 8:39 発の福島行に乗る。この電車で 9 名が合流した。



郡山上空は雲で覆われているが、
安達太良山の北方面は青空が広がっていた。



下車駅二本松に定刻 9:01 に到着した。駅改札正面に二本松少年隊（戊辰戦争）の像があり、12 歳～17 歳の少年が戊辰戦争に駆り出されたそうだ。 9:10 に予約してあるタクシーを駅前で待つ。現れたのはジャンボタクシーで、丁度 9 名が納まり、登山口の奥岳に約 30 分で着いた。



日帰り山行のため、往路はロープウエーを利用する。安達太良エクスプレスは結構な登山客が並んでいたが、あまり待たずに乗れた。空中散歩では殆ど紅葉が見られず、ナナカマドの葉も緑一色だ。



標高差 392m を 10 分弱で山頂駅に到着。
標高 1350mだ。
涼しい！



登山準備を終えて、登山口で集合写真を撮ってスタートする。(10:03)



左に安達太良山・薬師岳展望台への矢印、右に皇太子同妃両殿下行啓記念の碑があり、木道を進む



暫く木道を進むが、鮮やかな赤の紅葉からは程遠い。まだまだの様だ。



10:35 開けた展望の良い「仙人平分岐」に到着し、最初の休憩を取る



前方の山に赤く色づいた紅葉が点在し、これから高度を上げると更に期待が持てそうだ。



ここからは長蛇の列で、マイペースのスピードでは登れない。

ユックリズムの我々には良かったかもしれない。



更に5、6分登るとさらに展望が開け、紅葉も徐々に色づきが増してきた。



更に10分程登ると周囲の木々は背丈程度に低くなり森林限界が近づいたか？



益々、赤みが増してきた。



ガレ場になり、登山道も赤くなってきた。



11:05に2回目の休憩を取る。山頂はもう近い。



モミジやナナカマドも鮮やかさ増してきた



モミジの紅葉

下記にナナカマド、オオカメノキ、モミジ、カエデ、ドウダンツツジ等の黄葉、
紅葉の写真をまとめて掲載しました。(雄さん撮影)





ススキに立つ標識を左に曲がると、目の前に山頂（乳首）が現れた。(11:20)



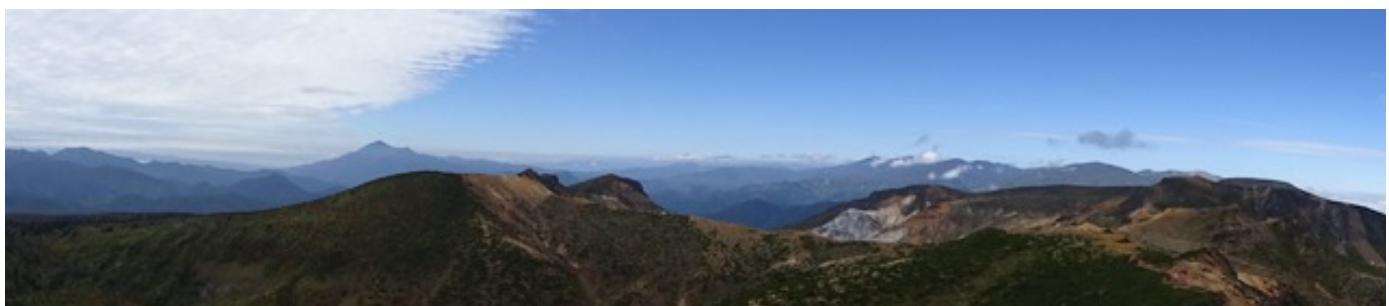
ザックを置いて、Top of The Mountain（乳首）を目指す。

山頂直下はクサリ場が二か所あり、慎重に登る。



11:37 安達太良山の最高峰 1700m の乳首の TOP に立つ。

下の写真は山頂から 360 度の展望を雄さんが撮った写真。





山頂から降り、昼食タイム。

昼食に先立ち、10月1日は大瀧さんの就活が実り、正社員としての入社日であり、能勢さんが持参したセコマワインで入社祝いの乾杯！



昼食も終わり乳首の前にある「安達太良山」の標柱を囲んで、記念撮影。(12:09)

すっかり上空は青空に囲まれていた。

・・・・高村智恵子が嘆いた「東京には空が無いといふ、ほんとうの空が見たいといふ。・・・阿多多羅山の山の上に毎日出てゐる青い空が智恵子の本当の空だといふ。」
今この上空の青空が智恵子がいう青空なのかもしれない。



下山は「沼の平（噴火口跡）」を見に、馬の背を超え、峰の辻へ向かう。



沼の平は1900年（明治33年）の爆発でき、三方を物凄い様相を呈した岩壁で囲まれ、まさに地獄谷である。



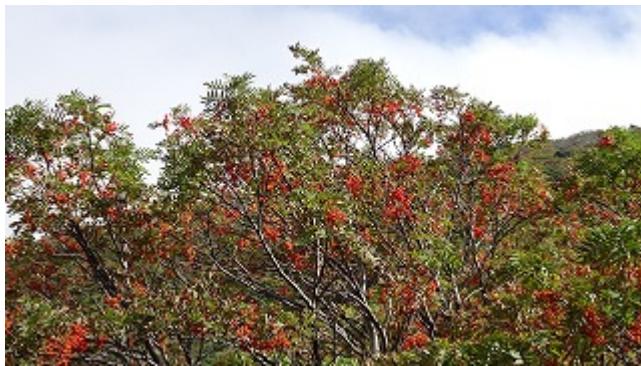
雄さんが丘の上から、
沼の平を覗き込む我々にカメラを
向ける。



峰の辻から「くろがね小屋」に向かって下山する。



急峻なガレ場が続き、振り返れば鉄山の岩壁がそそり立っていた。



くろがね小屋（温泉山小屋）で休憩し、更に勢至平を超える。春には一面、レンゲツツジで染まる。



勢至平から更に下り、馬車道（広い林道）に出たところで、ショートパスの細い山道に入ったが、急峻に挟られた泥濘んだ登山道で、木の枝の助けを借りながら何とか滑らずに降りることが出来た。



14:55 に奥岳登山口に戻ってきて「奥岳の湯」に入り汗を流す。



奥岳の湯は2015年12月17日にオープンしてまだ10か月目に入ったところで、内湯と露天部風呂の二つのみで、大広間や食堂などの設備はない。



恒例の温泉での乾杯はお預けになり、二本松駅のホームで、
今日の成果にコンビニで仕入れてきた缶ビールで乾杯！



郡山からは始発の新幹線「なすの」でガラガラの自由席を占有して、宴会列車と化した。

今日は、思いのほかの好天に恵まれ、更に山頂付近では色づいた紅葉にも出会い、最高の一日でした。

下記に本日のコースで出会った高山植物を掲載しています。

